

財産目録(例)

別紙4

財 産 目 録

.....年 月 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有金	-	運転資金として	-	-	xxx
普通預金	〇〇銀行〇〇支店他	-	運転資金として	-	-	xxx
	小計					xxx
事業未収金		-	〇月分介護報酬等	-	-	xxx
.....	-	-
流動資産合計						xxx
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(A拠点)〇〇市〇〇町1-1-1	-	第1種社会福祉事業である、〇〇施設等に使用している	-	-	xxx
	(B拠点)〇〇市〇〇町2-2-2	-	第2種社会福祉事業である、▲▲施設等に使用している	-	-	xxx
	小計					xxx
建物	(A拠点)〇〇市〇〇町1-1-1	19x x年度	第1種社会福祉事業である、〇〇施設等に使用している	xxx	xxx	xxx
	(B拠点)〇〇市〇〇町2-2-2	19x x年度	第2種社会福祉事業である、▲▲施設等に使用している	xxx	xxx	xxx
	小計					xxx
定期預金	〇〇銀行〇〇支店他	-	右附書により〇〇事業に使用することが指定されている	-	-	xxx
投資有価証券	第〇回利付国債他	-	特段の指定がない	-	-	xxx
.....	-	-
基本財産合計						xxx
(2) その他の固定資産						
土地	(〇拠点)〇〇市〇〇町3-3-3	-	5年後に開設する〇〇事業のための用地	-	-	xxx
	(本部拠点)〇〇市〇〇町4-4-4	-	本部として使用している	-	-	xxx
	小計					xxx
建物	(C拠点)〇〇市〇〇町5-5-5	20x x年度	第2種社会福祉事業である、訪問介護事業所に使用している	xxx	xxx	xxx
車輛運搬具	〇〇台3台	-	利用者送迎用	xxx	xxx	xxx
〇〇積立資産	定期預金 〇〇銀行〇〇支店他	-	将来における〇〇の目的のために積み立てている定期預金	-	-	xxx
.....	-	-
その他の固定資産合計						xxx
固定資産合計						xxx
資産合計						xxx
II 負債の部						
1 流動負債						
短期運営資金借入金	〇〇銀行〇〇支店他	-		-	-	xxx
事業未払金	〇月分水道光熱費他	-		-	-	xxx
職員預り金	〇月分源泉所得税他	-		-	-	xxx
.....			-	-
流動負債合計						xxx
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構他	-		-	-	xxx
長期運営資金借入金	〇〇銀行〇〇支店他	-		-	-	xxx
.....			-	-
固定負債合計						xxx
負債合計						xxx
差引純資産						xxx

(記載上の留意事項)

- 土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分に分けて記載するものとする。
- 同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- 科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- 「使用目的等」欄には、社会福祉法第95条の2の規定に基づく社会福祉充実指標の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を詳細に記載する。
- なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- 「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- 建物についてはのみ「取得年度」欄に記載する。
- 減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減価損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- 車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- 預金に関する口座番号は任意記載とする。